

平成30年度事業計画

○ 公益社団法人下松市シルバー人材センター

1 基本方針

我が国の経済は、雇用・所得環境の改善にみられるように、好循環が広がりつつあり、企業の業況観も改善をみせており、生産面を中心に緩やかな回復基調が続いているとされていますが、企業の設備投資や個人消費といった支出面への波及は、まだ十分ではなく、物価についても、国内の賃金上昇による押し上げ効果を輸入品の価格押し下げ効果で相殺し、横ばいの動きが続いているといわれています。

さて、少子高齢化が進展し高齢化社会を迎えてきていますが、将来的に労働力の大幅な減少が懸念される中で、地域の活力を維持していくためには、地域社会の一員として生き生きと働き、ボランティアを始めさまざまな社会活動に参加・貢献する組織としての、シルバー人材センター（以下「シルバー」という。）に大きな期待が寄せられています。

しかし、一方でシルバーを取り巻く環境は、民間事業所での適正就業の推進、雇用の延長等により、従業員が定年後も企業に残るケースが増えたこと等の要因もあって、新規入会会員が伸び悩むなど、厳しい状況にあります。

このような状況の中、当シルバーとしてはこれからも活力ある高齢者社会を支える公益社団法人として、また地域からの信頼と期待に応える組織として、健全な財政基盤の確立の下に効率的なシルバー事業を展開していくために、新規会員の獲得や、就業先の確保・拡大に努めながら、高齢者の多様な就業・社会参加の促進を図っていく必要があります。

以上を踏まえ、平成30年度の重点事業計画を次のとおりとします。

2 事業計画

(1) 組織体制の充実・強化

- ① 公益社団法人として地域社会への寄与と法令遵守に努めます。
- ② 「第二次中期基本計画」（平成26年度～平成30年度）の目標達成に向けて、各種事業の取り組みを推進します。
- ③ 理事会及び各専門委員会等の効率的な機能強化に努めます。
- ④ 「入会説明会」の充実を図り、受注件数及び就業人員の拡大につながる新規入会会員の確保に努めます。
- ⑤ 事務局機能の効率化・簡素化を図りながら、会員主導型への事業展開を推進します。

(2) 就業機会の拡大と会員の確保

- ① 公共団体、事業所及び一般家庭から就業情報を収集し、就業機会の確保に努めます。
- ② 需要の多い業務に対応する、技術や技能を持った新規会員の募集に力を入れます。
- ③ 適正な事業運営に取り組むとともに、労働者派遣事業の推進を図り、就業機会の拡大に努めます。
- ④ 職業紹介事業の推進を図り、就業機会の創出に努めます。
- ⑤ 会員、役・職員による就業開拓を促進します。
- ⑥ 地域社会にシルバー事業について発信し、会員の積極的な加入促進を図ります。
- ⑦ 福祉・家事援助分野に対応するため、女性会員の確保に努めます。
- ⑧ 独自事業の「正月飾り制作班（輪飾り班・門松班）」、「木工品製作班」、「布倶楽部」、「ハーブの会（軽食事業班・スイーツ班）」の事業活動推進のため、体制強化と受注の拡大に努めます。

（3）普及啓発活動の推進

- ① 市広報やホームページを活用し、シルバー事業について、効果的な普及啓発活動を推進します。
- ② 「シルバー事業普及啓発促進月間」にボランティア活動と啓発用チラシを配布し、地域社会に広くシルバー事業の浸透を図ります。
- ③ 「いきいきシルバーまつり」、「グラウンド・ゴルフ大会」については、市民と会員との交流の場であるとともに、シルバー事業の普及啓発の場となるように努めます。
- ④ 会報「星のさと」及び「事務局だより」等を会員及び関係機関等へ配布し、情報提供と普及啓発に努めます。

（4）安全・適正就業の推進

- ① 安全委員会等での審議を基にした「安全就業基準」や「安全就業基準指導要綱」の周知徹底を図り、『事故0』を目指します。
- ② 「安全・適正就業推進大会」を実施し、安全及び適正就業の意識の向上に努めます。
- ③ 「適正就業基準要綱」に基づく適正かつ公正な就業の推進に努めます。
- ④ 就業相談窓口を活用して、就業の適正化に努めます。

（5）講習会・研修会の開催

- ① 地域社会からの多様なニーズに対応するため、講習会・研修会への積極的な参加促進を図り、会員の資質の向上に努めます。
- ② 会員、役・職員を対象とした研修会及び親睦会を開催します。

○ 下松市勤労者総合福祉センター

1 基本方針

- (1) 指定管理者制度に基づく指定（平成26年度から平成30年度の5か年間）を受けていることに伴い、制度の趣旨を踏まえ、より一層の利用者の拡大と健全な運営に努めます。
- (2) 勤労者の福祉の充実と勤労意欲の向上を図る施設として、有効な利用促進を図ります。
- (3) 行政機関や各種団体、一般市民との協力関係を構築しながら、健康の保持、体力の増進、教養文化の向上を図るとともに、職業支援事業の推進と施設の安全・円滑な管理運営に努めます。

2 事業実施計画

(1) 施設の利用促進

- ① 設置目的に沿った公平な利用促進を図ります。
- ② 市広報等の活用、パンフレット等の配布による広報活動を積極的に展開し、利用拡大に努めます。
- ③ 施設・設備の良好な維持管理のため、日常点検及び定期点検を実施し、利用者の安全に努めます。

(2) 体力づくり

健康の維持管理や体力増進の場として、また、スポーツ教室、体力づくり指導教室の場として、体育室とトレーニング室の利用促進を図ります。

(3) 教養文化

自主事業の開催、自己啓発のための趣味、創作活動の講座・教室の開催を支援し、施設の利用促進を図ります。

(4) 就業支援

就職情報を提供し、職業技能講習会の場として利用促進を図ります。

3 自主事業

- (1) 書道教室
- (2) ペン習字教室
- (3) 大正琴教室
- (4) フラワーデザイン教室
- (5) オカリナ教室
- (6) トレーニング教室
- (7) 姿勢バランス体操教室
- (8) 囲碁・将棋同好会（囲碁・将棋大会を開催）